

細胞診を学ぶ人のために 第6版

坂本穆彦(編)

日本臨床細胞学会細胞検査士会会長/東海大病院病理検査技術科長

伊藤 仁

初学者の手引書として、 生涯教育のテキストとして

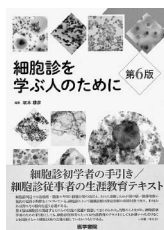
このたび、待望の『細胞診を学ぶ人のために 第6版』が刊行された。1990年に初版が刊行されて以来、来年で30年を迎える本書は、これまで細胞診を勉強するための教科書として、多くの皆さまが必携の書として愛用している一冊である。

本書は、細胞診を学ぶ人にとって必須の基本的内容が網羅され、詳細かつ簡潔な説明は平易で理解しやすい。細胞像、組織像などはオールカラーで美しく仕上がっており、要所には表や図が的確に配されている。特に初版からの特徴であるシェーマは、豊富に盛り込まれており、活字では表現し難い内容を視覚的に理解することが容易となっている。

第6版では、基本的な内容の他、新しい情報が積極的に取り上げられ、液状処理法(liquid-based cytology : LBC)や、On-site cytology など、近年、注目されている技術や方法にも言及している。現代の医学、医療は目覚ましい発展を遂げ、それに対応する組織分類の改訂や更新が続いているが、細胞診に深く関係するこれらの状況や変遷

についても留意されている。細胞診報告様式についても、子宮頸部細胞診ベセスダシステムに続いて公表されている甲状腺細胞診ベセスダシステム、尿細胞診パリシステム、唾液腺細胞診ミラノシステムなどについても触れられている。

執筆者も時代に合った次世代の専門医や細胞検査士が加わり、それぞれの得意分野を担当し、フレッシュさが感じられる内容となっている。細胞診初学者のための手引書として、そして細胞診従事者の生涯教育のテキストとしても有用な初版以来のスタンスを色濃く継承している。『細胞診を学ぶ人のために 第6版』、まさに細胞診を学ぶ人のために刊行された一冊である。



●B5/頁 432/2019 年
定価：本体 9,800 円＋税
[ISBN978-4-260-03799-0]
医学書院 刊